

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論Ⅲ		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
藤井 充 他	306	mitsuru.fujii	水曜日 12:00～13:00		
授業の目的・概要	専門看護領域の学習を進めるうえで必要な疾患・病態を理解することは重要である。疾病治療論Ⅲでは、内分泌・代謝疾患と腎・泌尿器疾患・治療全般について理解することを目的とする。講義では、当該分野の疾患の症状、診断、治療および予後について説明する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	人体構造機能学Ⅰの教科書の該当部分で予習を行うこと。また、これから学習する看護学専門分野で必要になることを認識して学習すること。				
教科書	・成人看護学 [6] 内分泌・代謝 第15版 系統看護学講座/医学書院 ・成人看護学 [8] 腎・泌尿器 第15版 系統看護学講座/医学書院 [2冊指定]				
参考書	ハリソン内科学 第5版/日本版監修：福井次矢、黒田清/メディカル・サイエンス・インターナショナル 2017				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	臨床的に重要な疾患について基本的な特徴を説明できる。		HSU(1)(2)、NS(1)(2)		
②					
③					
④					
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (担当：吉岡)	講義	疾病治療論Ⅲを学ぶ意義について学習する。	1	
2	内分泌・代謝器官の構造と機能について学習する。(担当：藤井)	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
3	内分泌・代謝疾患の症状と病態生理について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
4	内分泌・代謝疾患の検査について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
5	内分泌疾患(下垂体、甲状腺)について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
6	内分泌疾患(上記以外)について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
7	代謝疾患(糖尿病、その他)について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
8	内分泌・代謝ふりかえり(小テスト)	小テスト	小テストで分からなかったところを教科書で確認する。	1	
9	腎・泌尿器器官の構造について学習する。(担当：榎本)	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
10	腎の機能と生理、検査について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
11	泌尿器系の疾患(腎不全)について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
12	泌尿器系の疾患(結石、がん)について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
13	泌尿器系の試験問題について	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
14	薬物治療について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

15	薬物以外の治療について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	2回的小テスト4割、定期試験6割で総合評価する。小テスト、定期試験は多肢選択方式の筆記試験で実施する。				正答率が低い問題について、オンラインでフィードバックする。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他担当教員	榎本 温 連絡調整を行う看護教員：吉岡 睦世						
教員の 実務経験	科目担当者は医師免許を取得して30年以上の経験を持っている。						
実践的授業の内容	臨床現場で遭遇することが多い疾患とその問題点を踏まえ、現場で有効に役立てる知識の提供に努める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容は、講義の進行度によって前後する可能性がある。 ・対面授業において、席の指定、マスクの常時着用。定期的換気により感染防止に努める。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢の変化により再度シラバスの変更がありうるので注意すること。 						